

◎ 建るより、やさしい筈だ火の用心

この一票明日の議会で政治する

参議院議員選挙
七月八日執行

夏の商戦は夜にあり

照明と装飾コンクール

参加店募集

市内の商店の皆さま...この自己のお店の繁栄を図つて下さい。自信がないからとか、うちの店では...というようなご遠慮は一切無用です。進んでご参加下さい。

①主催 西尾市役所
②協賛 中部電力株式会社

③コンクールのとぎ 七月十日、十一日の二日間の予定
④賞品 県知事賞、県議長賞、市長賞等の多数
⑤申込方法 発展会会員の方は、発展会長さん迄、

⑥申込締切 六月三十日午後五時迄
⑦参加料 一切ありません
⑧審査基準 (1)照明効果、(2)店との調和、(3)照明器具の適否、(4)外部外装看板、(5)店の全面的感じ、(6)商品の並べ方と価格表示

⑨部門 第一部西尾地区、第二部平坂、寺津、福地、三和、米津各地区

身に技術を

職業補導生募集

愛知県職業補導所では、ラジオ組立修理、建築、陶芸、図案、機械の職業補導生を募集しております。この補導生は年令、学歴など問いませんし、授業料も無料で修了すると就職のあつせんもしてくれまます。この希望者は、二十五日までに西尾

引揚者の皆さんへ

たゞいま引揚者が在外実調査が行われております。この調査は、在外資産問題の、今後の審議資料となるものですから、引揚者は、一人も洩れなく、進んで調査にご協力下さい。

調査用紙は、西尾市役所にあり、調査期間は六月三十日までです。なお詳しいことは、前号の広報にしおあるいは市役所民生課援護係にお問合せ下さい。

すわ！事件！

こんな場合に緊急電話

緊急電話とは
これは警察通報用電話といつて、局の交換手さんが出たら「警察」といえば、すぐさま警察を呼び出すようになっている電話のことです。

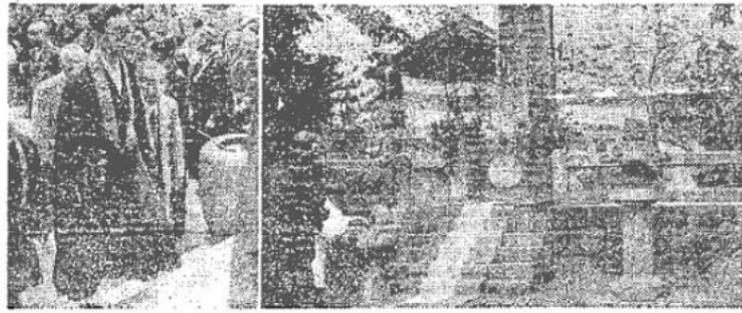
緊急電話はこんな場合に
皆さんがもし強盗にあつたり、道で乱暴されたときか、また押売りや酔っぱらい、急病人などで大変困つておられるとき、そのほかいろいろな事故があつたときは、どなたでも結構ですから、一番近い場所から大急ぎでかけて下さい。普通の用件や問合せなどにはご遠慮

火事の場合

「火事」と呼んでいただけば、局から七〇〇番の消防本部(市役所内)につないでくれます。また各支所管内の場合も、直ちに支所を呼び出し、消防本部へも通報してもらえらるようになります。

普通の用事は

西尾警察署
西尾局 一三七番
西尾市役所
西尾局 七〇〇番



台嶺殉教記念碑

所位 名四 新第

大正十三年六月石川台嶺師を始め、三十余名に上る殉教者の人々の一大記念碑が、西尾市柴町の西南部にある旧西尾藩の牢獄跡に建設せられた。

事件は明治四年にさかのぼる、当時現在の碧南市大浜には菊間藩大浜事務所が置かれ、その長官は服部少参事であつた。時は維新忽々の際で、その施政方針も革新に極めて急で、宗教上に関しても廃仏棄釈、寺院合併等を強制しようとしたので、真宗僧俗との間に騒擾をかもした。遂に流血の惨事をひきおこすに至つた。これが世に伝えられている驚愕騒動である。そうして事件後その中心人物であつた台嶺師は、捕えられて獄舎につながられた。同年十二月二十九日前記牢獄で斬罪に処せられ、同志の人々も亦、重きは絞首刑或は准流刑、或は禁錮に処せられた。台嶺師時に齡二十九歳。記念碑の題額は彰如上人により、碑文は村上專精博士の撰になるものである。

文...柴田 実氏
写真：昭和二十九年六月六日親しく台嶺記念碑に詣でられた東本願寺法主 大谷光鴨師と、

記念碑。

法務局西尾出張所……支局に昇格

吉良、一色を統合 (六月一日から)

名古屋法務局西尾出張所が、六月一日から西尾支局に昇格しました。支局昇格と同時に名古屋法務局一色出張所、同吉良出張所の二庁を整理統合し、名古屋法務局西尾支局として発足することになりました。

今後、西尾支局では西尾市および幡豆郡全域にわたる登記事務のほか、新しく戸籍・国籍をはじめ供託、訟務、人権擁護などの事務を取り扱うことになりませんが、特に住民に関係の深い不動産登記や商業法人登記事務も行なうことになりました。

◇支局昇格のいきさつ……

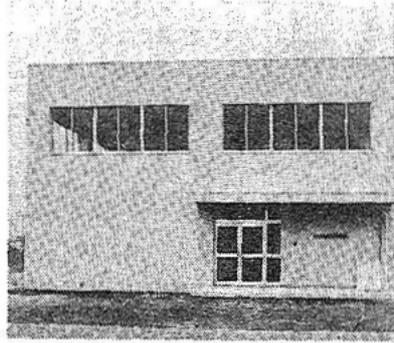
昭和四十五年十一月「行政機構の簡素合理化の推進」の閣議決定、同十二月「地方支分部局の整理再編成」の閣議報告に引き続いて、これら政府の方針を具体化し、昭和四十七年九月「

法務局および地方法務局の支局または出張所の適正配位の基準等に関する民事行政審議会の答申」にしたがい、支局に昇格させたものです。

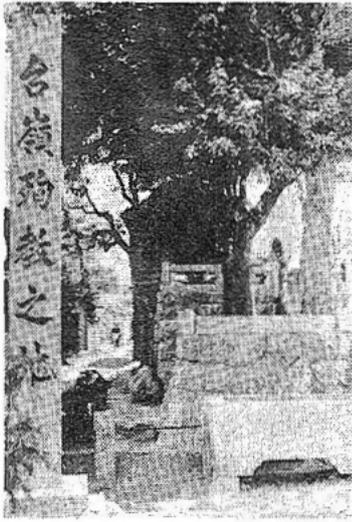
◇新庁舎所在地

熊味町南十五夜六十番地

電話⑦二六二二



△新装なった法務局▽



6月5日～6日

台嶺忌 (葵町)

当日は師の血染の袈裟を公開

石川台嶺(法名了圓)、天保14年(1843)正月朔日、幡豆郡室場村の順成寺(現市内)で生まれ、のち碧海郡桜井村小川(現安城市)の蓮泉寺の養子となる。若くして京にのぼり学問の研さんを積み帰国して私塾を開く。美濃、尾張、遠くは駿河、遠江から来て学ぶ者もいた。

台嶺は信心堅固、つねに護法の心厚く当時の排仏忌の風潮に断固反対して立ち上がり、同志30余名と白衣に黒染の袈裟をかかえて代官所に陳情しようとしたが失敗。ついに捕吏にとらえられ刑場の露と消えた。時は明治4年12月27日、師は当時若冠29歳。

毎年6月5日、6日に台嶺忌を行なっていますが、この日は台嶺師の血染の袈裟が公開されます。なお、台嶺の顕彰碑のある所在地(葵町)は、城下町時代の奥屋敷のあったところで、その一部が牢屋、処刑場であったと伝えられています。

嘉永七年の地震で 明泉寺山門倒壊



-115-

嘉永七(一八五四)年十一月四日(太陽曆十二月二十三日)に東海東山南海の諸道を襲った、マグニチュード八・四の大地震は大津波をともなつて、当地方にも大きな災害をもたらしましたが、これについては「西尾市史」一に詳細に記述しておきました。市内各地の被災状態も史料の残る限り網羅しましたが、沖積地帯である旧福地村での災害の史料を発見することができました。ところが最近旧福地村に接する矢曾根町の明泉寺で本堂修理のついでに古記録古文書を整理されましたが、そのなか「安政三年辰五月四脚御門啓宇木寄諸色積り帳」その他が発見され、嘉永の地震で、明泉寺の四脚門(薬医門)が倒壊したことが判

明しました。

これで、旧福地村地方がどの程度の震災に遭ったかが推察されます。明泉寺の記録によりまずと、倒壊した門は「先作廿ヶ年の間月々両日法談致され壹銭貳銭の志なつらびに同行よりは五文すつ掛銭仕り」右志を村方庄屋へ預け置き其の元利を以て頼母子加入仕り四拾三年を経て再建仕り候」という門でありました。明泉寺ではこの門の倒壊を西尾藩宗方役所へ届け出囑絵図を添付して、再建を願分を経て、再建が許可になったので、安政三(一八五六)年に再建が成りました。

- 見積りから工事一切を受け負ったのは、名古屋大津町五丁目伊藤平左衛門でした。費用は全部で百
- 一金五拾五兩 御門之分惣木代
 - 一金三兩拾匁 扉之分惣木代
 - 一金五兩 彫物之分惣木代
 - 一金貳拾兩 御門之分皆出木大工作料
 - 一金三兩三分五匁 扉之分大工作料
 - 一金拾兩 彫物之分工料
 - 一金壹兩貳分貳朱 釘代
 - 一金壹兩貳分朱 杉うす板土居うきとも
 - 一金貳兩貳分 縄上藁荷作り舟積入
 - 一金貳兩貳分 平坂まで運ちん
- こうして出来あがった門が、倒壊以前の門の規格と相違しているというので、宗旨奉行から工事の仕直しを命ぜられるなど、紛糾が起りましたが、嘆願の結果、仕直しは許されたようです。

△市史編さん室▽

◇おわび◇

五月十六日号広報にしおの表紙に「茶摘音頭は昭和七年」とありましたのは「昭和六年」の誤りでした。また、「岩瀬三三氏」が作詩、作曲とありましたのは「岩月三三氏」の誤りでした。つづしんで訂正いたします。



町蔵 明泉寺 曾根 矢明

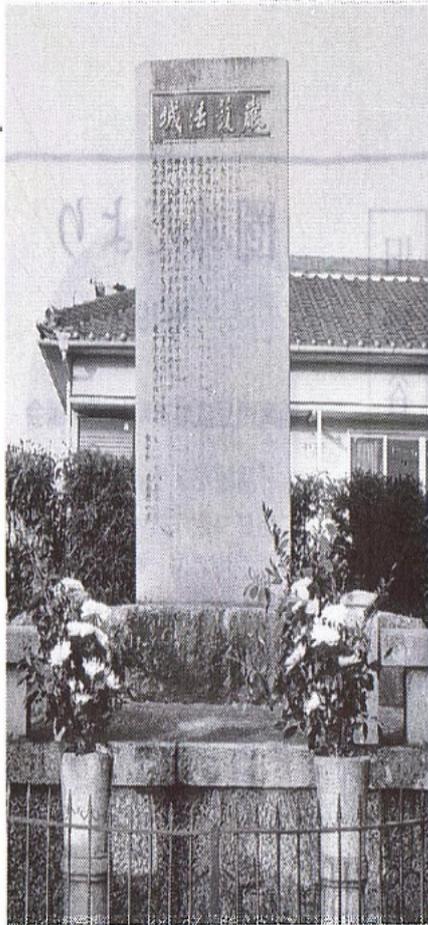
ふるさと探訪¹³



●文/磯貝逸夫

市内葵町バス停の西に、大きな記念碑がある。ここは江戸時代、奥屋敷と呼ばれ、西尾藩の牢屋敷があったところである。明治四年十二月二十七日、ここでひとりの青年僧が処刑された。彼の名を石川台嶺^{たいれい}という。台嶺は、世に大浜騒動とか鷲塚騒動と呼ばれる事件の責任を負って斬首された。日本の夜明け前のできごとであった。

事件はこの年の三月に起こった。菊間藩・大浜出張所（碧南市）に少



葵町市内にある台嶺記念碑

参事として前年赴任してきた服部純は、神仏分離をはじめつぎつぎと政治改革をした。なかでも、小さな寺院の併合と無壇寺院の廃寺を強行しようとしたことに、浄土真宗三河護法会の僧たちは強く反対した。一部の寺が、服部の寺院統廃合に合意したことは僧たちの危機感を高めた。

役人たちが退出しようとした時、最年少の藤岡薫、当時二十歳が戸口のところで槍や竹やりで刺され、殺されてしまった。勢いづいた群衆が大浜に向かおうとした。西尾、刈谷、岡崎などの隣藩は兵を出し、これを鎮圧した。

台嶺殉教の地

たいれい

百姓たちも集まり出した。米津町の龍讚寺に着いた時には、群衆は数千人にふくれあがっていた。

三河護法会のリーダーが石川台嶺であった。彼は天保十四年（一八四一）に市内室町の順成寺で生まれ、十代後半に、京都・高倉の学寮（大谷大学の前身）で学んだ。かなりの秀才であったといわれている。二十三歳で、小川村（安城市）の蓮泉寺の養嗣子となり、青年宗教家として成長し信頼を集めた。事件の折、最高責任者であった。

明けて九日、鷲塚（碧南市）の庄屋片山家で、僧たちと菊間藩の役人たちとの交渉が始まった。夜に入って話し合いが中断したが、あたりは異様な雰囲気となり殺気だっ

この騒擾事件の審判は厳しくなされ、その結果、台嶺は斬罪、藤岡殺害の下手人として榊原喜代七（安城市城ケ入町・百姓）が絞罪、他に重刑者は僧侶四十三人、百姓二十一人、始末書提出者千百五十五人に及んだ。榊原喜代七については冤罪であったともいわれている。

た。台嶺が妻に宛てた辞世の歌は、つゆの身はここかしこにてきゆるとも心は同じ西のかのきし

た。

交通事故絶滅を期す

地区の安協や町内会が立ち上がる

寺中校区、交通安全モデル地区に指定

寺津中学校校区が、西尾市で初の交通安全モデル地区に指定されました。

同校区は国道二四七号線が通っており、国道に交差する道路は昔ながらの狭い道路で、歩道、車道の区別もなく事故多発地区になっていきます

又、踏切事故も多く、ことしの一月十日には二人即死という痛ましい事故が発生しています。

このため、寺津地区の交通安全推進協議会と町内会が中心となって交通事故防止に立ち上がり、五月二十四日、寺小体育館で「交通安全事故納減総決起大会」を開き、次の誓いのことばを確認し合いました。

- * あせつてる今があなたの赤信号
- * 止まります 待ちます 車の切れるまで

明治殉教絵史、貝吹の大ツバキなど

市の文化財に指定

市では、このほど市文化財保護委員会から答申のあった「貝吹の大ツバキ・田中長嶺筆 明治殉教絵史・聖運寺のイブキ」の三点を市の文化財に指定しました。

【明治殉教絵史】市内中町、聖運寺所有。明治四年に発生した三河国大浜騒動のてん末を田中長嶺が、その真相を伝えるため絵に説明文をつけたものです。大浜騒動は、三河人の浄土真宗に対する信仰心と教団の教化との結びつきの中で、明治新政府が誤解の

もなお運動の一環として、地区の全世帯に「黄色い羽根」を配布したほか、地区の玄関には「運転が示すあなたのお人柄」と書いた立て看板を七か所に掲出して事故防止を呼びかけています。

又、同校区には寺小児童が組織する「寺津交通安全少年団」が昨年十二月に結成されており、町ぐるみで交通事故絶滅を期しています。

とで引き起こした悲劇的な事件として知られています。

【貝吹の大ツバキ】市内貝吹町、名倉五郎氏方に自生。昭和四十三年、市文化財保護委員会が行った市内巨木調査で持ち出されていたもの。推定樹齢三百年以上と見られ、樹高七尺、胸高囲一・八尺。昭和三十四年の伊勢湾台風で主幹が折れましたが現在は樹勢も回復し、季節には美しい花をつけます。

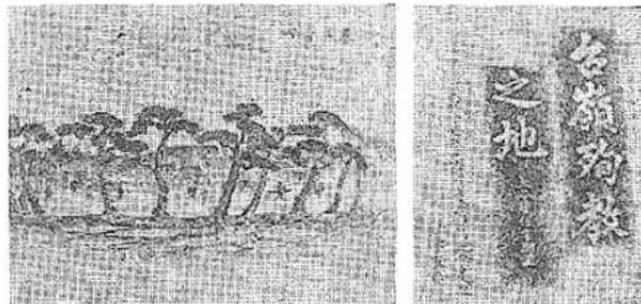
【聖運寺のイブキ】市内中町、聖運寺境内に自生。市内の三大イブキといわれており他の二本は、すでに指定をうけています。同寺のイブキは、他の二本と比較しても樹高や根回りで優れており、知立市万福寺のイブキ

（県指定）に匹敵するほどのものです。樹高一五尺、根回り四・一尺、胸高囲二・四五尺。

人権擁護委員に磯貝さん

前委員 高須さんに大臣感謝状

ながらく人権擁護委員として活躍された高須谷子さんは、任期満了により五月三十一日付で退任されましたがその功績に対し法務大臣から感謝状が授与され、六月二



指定文化財となった殉教絵史の一部



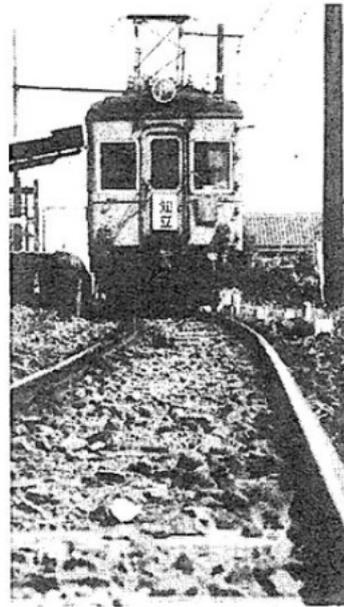
退任の高須さん



新任の磯貝さん

- 日、本多市長から伝達されました。又、高須さんの後任には、さきの三月議会で推せん同意された磯貝露子さんが六月一日付で法務大臣から委嘱され、家庭内のもめごと、金銭の貸借、土地境界のあらそいなどといったいろいろな人権上の問題の相談にあたっていたことになりました。
- 西尾市には、磯貝さんをはじめ五名の人権擁護委員が置かれており、毎月第四土曜日、勤労青少年ホームで人権法律相談を行っているほか、各委員の自宅で常時、みなさん方の相談に応じています。もし次のようなことがありましたらお気軽にご相談ください。
- ① 公務員から不当な圧迫や処置を受けた
 - ② 生活上、営業上の自由や安全が犯された
 - ③ 村八分、町内で差別待遇を受けた
 - ④ 人身売買（児童の酷使）
 - ⑤ 生活環境に対する侵害（騒音

線路内で遊ばない



54名鉄
列車妨害なんと139件

二月二十日、枚方市で起きた子どもの列車妨害で、京阪電車が脱線転覆し、多くの重軽傷者を出しました。私たちが身近に利用している名鉄電車でも、大事に至らなかったにせよ、列車妨害による事

故がひんぱんに起きています。名鉄の五十四年の列車妨害は、百三十九件もあり、五十三年に比べ二十七件増えています。このことから名鉄では、京阪電車のような惨事を未然に防ごうと、特に踏

切事故多発区に要注意区間を設定するほか、電車、バスの踏切事故、列車妨害をゼロにするための緊急体制をとっています。

事故発生要注意区間として、近くでは西尾線の桜町前から吉良吉田間、蒲郡線の吉良吉田から三河鳥羽間が指定されています。

これから行楽シーズンとなり、家族でお出かけの機会も多くなりますが、踏切では必ず止まり、左右の安全の確認をしてから通行してください。また、つくし探りのため、子どもたちが線路内へ入ることがあります。つくし探りが列車妨害"になってしまいかもありません。どうか家族のみなさんや沿線の方たちで、子どもたちに線路内に入らないよう呼びかけてください。

心身障害者扶助料

支給対象者を拡大

西尾市中心身障害者扶助料の支給対象者の範囲が拡大されました。

従来、公的年金との併給が認められていませんでしたが、四月から条例改正により、重度心身障害者(児)の方々に対しては、併給制限が解除となりました。

次に該当される方は、申請手続をしてください。

*新しく受給できるようになった方

身体障害者手帳一級、二級の交付を受けた方、又は精神薄弱者でA判定の療育手帳を受けた方

*次の方は除きます
・日本国籍を有しない方
・西尾市に居住してから一年未満の方

*支給額 月額 二千五百円

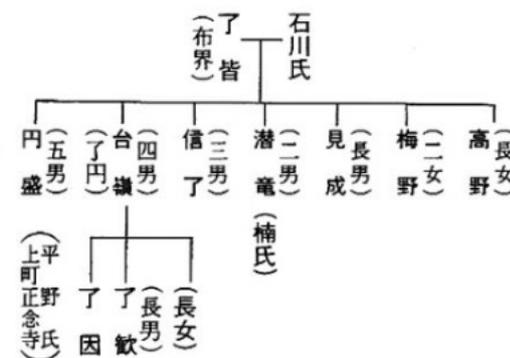
*申請に必要なもの
身体障害者手帳、又は療育手帳、印かん、預金通帳(郵便局は除く)

*申請書の提出先
生きがい課福祉係
☎六二二二(内) 五五

##史料##
##資料##
##研究##
##再##
##検##
##討##
##(1)##
= 169 =

石川台嶺系譜の再検討(1)

石川台嶺の系譜として「西尾市史」四に、吉田久一著「日本近代仏教史研究」から引用して次のように掲げました。(一五九ページ)



台嶺の系譜が他の文献に見当たらなかつたのと、吉田氏の著作が大浜騒動の最も新しい権威のあるものと聞いていたためでしたが、これは安易な方法で粗漏でした。台嶺の妹梅尾(前掲系譜の梅野は誤り)の嫁した蒲郡市江畑の信光

寺住職菅原氏らの指摘や、示教およびそれらに基づいた調査によって、ほぼ正確な系譜を作成することができたので、近く刊行する第五巻に正誤表を添付するつもりですが、それにいたる一端を紹介しましょう。

まず、台嶺の母を単に石川氏としてありましたが、名をけいとい、文化五(一八〇八)年十月一日の生まれで、その父は碧海郡小川村(安城市)の蓮泉寺の了性の長女で、了性の長男了雲の姉でした。室町順成寺の住職了皆の妻と記録にあります。

室町の順成寺は了皆、けいの子として台嶺の誕生した寺ですが、本堂の裏の墓地に了皆の墓は見当たりません。代々の住職の墓を見ると、九代得成(天保五年十一月十六日没)の墓は立派に建てていますが、一〇代に当たると了皆は墓がないのです。了皆は明治五年一月二十七日(台嶺の刑死一か月後)に没していますが、妻のけいは明治二十一年五月十一日まで生き、八十一歳で没しました。しかも、その没地は室町順成寺ではなく、宝飯郡(額田郡と誤記した記録もある)の当時塩津村竹ノ谷の信光寺でした。これは末女梅尾の嫁した現在の蒲郡市江畑の信光寺です。とすると、けいの夫了皆も晩年は老妻とともに信光寺に居り、信光寺で没したものと見られます。

(続く)

青年の家

青少年教育の拠点

五十四年中五万四千人が利用

今回の「にしお散歩」は、青少年教育の拠点としてご利用いただいております。「青年の家」をご紹介します。

青年の家は、青少年の研修の場として、社会生活に必要な人間形成と家庭生活並びに職場での必要な教養を高めるために、昭和四十六年三月、錦城町に建設されました。

建物は、鉄筋コンクリート三階建、建設費は六千二百五十三万円。研修室（四室）、視聴覚音楽室、体育室、事務室、喫茶室などがあります。

少年期教育として

1、青少年対策事業

夏の青少年をまもる運動、青年によい本をすすめる運動、青少年とともにすすむ冬の運動、有害図書自動販売機調査指導など、青少年をとりまく環境浄化活動をすすめています。

2、たくましい西尾っ子大会
ことしで三回目になります。

この大会も青年の家を中心におこなわれています。

3、西尾の甲子園

昨年九月に第一回「西尾の甲子園」と称し、総合グラウンドにおいて一市三町の子どもの会ソフトボール大会がおこなわれました。

4、年少リーダー県外研修

これは過去八年にわたり、岐阜県掛妻郡池田町子ども会と市子ども会が春と夏交流しています。

5、その他

①子ども会、ジュニアリーダー、サブリーダー野外研修

②子ども会夏期大会

③市子ども会大会

など子どもに関する行事がいっぱいおこなわれています。

青年教育として

1、青年学級の開設

福地中学校で開設されており、勤労青年を中心に、職業上あるいは家事に関する知識技能と一般教養を学びます。

2、青年大学

青年期の課題、社会問題、レクリエーション指導の方法など次代を担う指導者の育成をめざします。

3、青春教室

正しい男女交際、より良い青春期の方向をさぐります。

4、市民教養講座

郷土が生んだ著名な歴史上の人物の作品などについて学習します。

5、その他

青少年教養講座、青少年有志指導者育成講座など多数あります。

昨年の利用状況

会議 九百五十九人
研修 四万二千五百人
個人 九千三百四十一人
合計 五万三千八百人

利用案内

開館時間

平日 午前九時～午後九時

日曜日 午前九時～午後五時

休館日

毎週月曜日、国民の祝日、年末年始

利用手続 利用許可申請書を提出

利用料 原則として無料

所在地 錦城町・七八一

電話 六一七二二

石川台嶺系譜の再検討 (2)



石川台嶺系譜の再検討 (2)

石川台嶺の長兄は兄成で室町順成寺の第十一世を継ぎます。次兄潜竜は蒲郡市蒲形の専覚寺に入つて三十年間その住職を勤めました。専覚寺には東本願寺の彰如法詞の「講師潜竜之碑」と書した碑が建てられており、その碑陰に潜竜の略歴が刻まれています。明治三十五年七月に門人らが建立したものです。碑文は、潜竜は法名を徹亮といひ、冷光院と称した。専覚寺に入つて楠氏となつたが本姓は安藤氏で三河国室村順成寺の得成の子であると記しています。さきの系譜に示したとは違つて了皆の子ではなかつたのでした。順成寺第九世得成の没したのは天保五(一八三四)

年十一月十六日であることはさきに記しましたが、二男潜竜の誕生は天保五年十二月二十三日でありますから得成は潜竜を妻けいの胎中に残して世を去つたのでした。つまり、楠潜竜は台嶺の異父兄でした。台嶺の同胞七人のうち、長男見成、二男潜竜は得成の子だったのでした。二十七歳で未亡人となつたけいは了皆を順成寺の住職として迎え、再婚して、天保十二年に長女高野、天保十四年に三男了円(台嶺)、弘化二(一八四五)年に四男信了(津梁と書いたものもある)、嘉永元(一八四八)年に五男円盛、同四年に二女梅尾と三男二女を生みました。従来の台嶺系譜の最も大きな誤りは台嶺の同胞七人をすべて了皆(布界とも書かれる)の子とした点でした。台嶺の死罪が確定的になつた際に、上京して助命運動をしたのは室村順成寺見成と知多郡阿久比町光西寺の坂楚慧燈でした(阿久比)。見成は義兄で台嶺出生寺の住職として、また、慧燈は実は台嶺の実弟信了ですから、実同胞の代表として上京奔走したのだと思われまふ。さて、台嶺の父了皆はどこから順成寺へ入寺したのか。岐阜県郡上郡八幡町に安養寺という寺があります。台嶺の次義兄潜竜が専覚寺から移つて十一年間住職を勤めました。この寺の文書に台嶺の父了皆は蒲郡専覚寺の二男であつたと記されています(続く)

レポ-ト

市史編さんのあゆみ

12年 九卷一万ページに及ぶ

余で

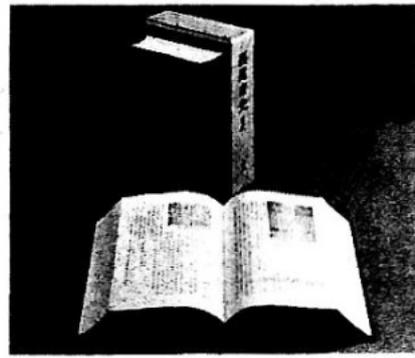
ただいま市では、『西尾市史現代五』を頒布しています。

市制二十周年の記念事業として西尾市史の編さんが始まったのは昭和四十三年五月でした。

五月二十一日に第一回目の編さん委員会が開かれ、以来、関係者の寸暇をおしんでの調査研究が続けられ、えんえん十二年余に及びました。この間、四十四年八月に刊行した西尾市史史料Iをはじめとして、史料編四巻と今回発刊した「現代五」を含め本編五巻、総計一万ページの西尾市の歴史が編さんされました。

既刊分は次のとおりです。

◇史料編
昭和六十一年 下永良陣屋日記 I



お早目にどうぞ

西尾城 城郭城下町 II 四十四年八月刊

西尾藩の新田 付六か郷堀割患水 III 四十六年十二月刊

西尾市の生物 動物、野鳥、植物 IV 四十八年三月刊

◇本編
西尾市史 自然環境 四十八年十一月刊

西尾市史 古蹟 四十九年十一月刊
西尾市史 近世下 五十一年三月刊
西尾市史 近代 四十九年八月刊

以上、ご好評いただきありがとうございます。在庫はありますが、勉強したい人は市立図書館岩瀬文庫で閲覧いただけますように用意してあります。

西尾市史の編さんは、「あくまで西尾人の作った西尾市史」であることを、大原則としてすすめてきました。したがって、直接調査研究、執筆にあられた編集委員の先生方は、すべて市内の中小高等学校の先生方です。職場をもつた先生方が、経験のない大事業に直接取り組まれただけに、そのご苦労はさぞたいへんだっただろうと思われまます。

史料調査、難題な史料の解明、長文の原稿執筆など、すべてがはじめての体験であり、この間の関係者のお気持は悲喜こもごも、それだけにエピソードも多いようです。

西尾市史の評価は、いろいろでしようが、専門家のご激励の一文を転載、紹介しましょう。一時期西尾高等学校で講師の経験をおもちで、現信州大学教授の塚本孝先生は、「一見無意味な紀行文や書簡の類をも片っ端から読んでいくというような非秀才的な作業が研究者に要求されよう。市町村史のなかにも丹念な調べ手を得た、そういう実績が見出される。管見では近年の例としてたとえば西尾市史近世下の関係分がそうである。『地方史研究』より」と述べておみえです。ちなみに先生は近年では「安城市史」、「豊田市史」などの編さんにも携わっておみえです。

今回刊行された西尾市史現代五は、敗戦後の混乱期から市制直後の昭和三十年までを、応の範囲としていますが、項によっては明治期にさかのぼり、また昭和四十年代まで記述をすすめたところもあります。一方、「伝統文化」の章を設け、おすれさられようとしていく文化を詳述することに努力しています。

内容の詳細は広報にしお六月、日号（五ページ）をご覧ください。なお、西尾市史現代五の頒布場所は市情報課、頒価は六千円です。

史料編レポート

石川台嶺系譜の再検討(3)

岐阜県郡上郡八幡町新町の安養寺の文書に「得成（室町順成寺第九世）早世天保五（一八三四）年二月去日逝ス。然ルニ同国宝飯郡蒲郡町専覚寺ハ順成寺ト重縁ナルヲ以テ同寺ニ男子皆入寺シテケイノ婚養子トナル。三男一女アリ」とあります。「重縁」のことは分りませんが、以前に婚姻関係があったのでしよう。

ここで台嶺の同胞を順に並べてみますと、長男見成は室町順成寺第一世、二男潜庵は初め蒲郡の専覚寺に入り、輔姓でした。以上二人は母けい、父得成です。以下が母けい、父了智です。長女高野は碧海郡桜井村（安城市）法行寺に嫁し、三男台嶺（了門）は母の実家、碧海郡小川村蓮泉寺に養子し、四男信了（安養寺文書では津梁）は知多郡阿久比町光西寺に入って飯姓となり慧燈といいました。五男円盛は上町正念寺に入って平野氏を名乗りました。二女梅尾（吉田氏本は梅野、安養寺文書は梅枝、ともに誤りと思われる）は蒲郡（旧塩津村竹ノ谷）の信光寺に嫁し、菅原姓となりました。

ところが、了智の妹がすでに、信光寺第一六世祐成に嫁して、梅尾はその子、七世祐済のもとに嫁付いたのでした。信光寺では了智の妹と祐成夫妻は相次いで没し、長男祐済が十三歳の若さで残されました。室町順成寺ではすでに長男見成が成人し、第一世を継ぐことが出来たので、了智夫妻は了智の甥の祐済の若さを案じて夫妻ともどもおそらく末女の梅尾も伴って信光寺に移り、少年祐済を助けて寺務を見、祐済の成人ののち、梅尾と結婚させたのでしよう。母けいが信光寺で没したことは先に記しましたが、了智も同寺で明治五年一月二十七日、台嶺の殉教後、か月で亡くなったものと思われまます。これで台嶺の実父了智の墓が室町順成寺に無いことの理由が想像できます。

さて、台嶺刑死後にはその長女つなと長男了観（了歡は誤り）が残りましたが、未亡人おちが碧海郡中切村から畝部了因を迎えて再婚し、了整を生みまました。了因を台嶺の子とする系譜は誤りです。台嶺の妻も母も奇しくも同じく、人の夫を持つたわけです。なお、台嶺の長男了観は、少年時、米津の米津西講の私塾、益壽学校に学んだことが、同校の明治十八年の生徒名簿から知られます（昭和五十四）





好評です 大浜騒動展

— 資料館 6月30日まで

五月十一日から資料館で始まった大浜騒動展に、お出かけになりましたか。
明治四年、現在の碧南市の警塚で発生した大浜騒動。事件の受刑者は、僧侶、農民ら六十四人。その当時の遺品や文書など百点余りを展示。この大浜騒動展は、六月三十日までです。この機会に、ぜひご覧ください。

期 日 8月13日～15日(金～日)
場 所 茶臼山野外活動ロッジ(北設楽郡豊根村)
定 員 20組
参 加 料 大人(中学生以上)九千円
 小人 七千円
申 込 締 切 日 6月30日
 | ガキ大将キャンプ |
期 日 ①8月20日～22日(金～日)
 ②8月23日～25日(月～水)
場 所 愛知県相楽山荘(蒲郡市相楽町)
定 員 各コースとも50名
对 象 小学5年～中学2年
参 加 料 一万円
申 込 締 切 日 7月15日
くわしくは愛知キヤンプカウン
セラー協会(名古屋市瑞穂区洲山
町3-47) ☎052-853-13
869電話は毎週月・水曜日の午
後5時から7時までの間にへお
たずねください。

市政発展の功労者

27名を表彰

市では、五月二十一日文化会館で市民表彰と、五十六年度事業(鶴城小学校校舎新築工事など八事業)の合同竣工式をおこないました。表彰されたのは、市政の発展に貢献した自治功労者ら二十七名のみなさんです。(敬称略)

- 自治功労表彰
- 稲垣はづる(60) 中畑町
 - 鈴木百合子(55) 寺津町
 - 富田 一郎(60) 家武町
 - 中根 きん(61) 中畑町
 - 三宅ひさ子(55) 花ノ木町
 - 村松 まさ(59) ハツ面町
 - 吉見 久枝(44) 鶴ヶ崎町
- 一般表彰
- *教育・体育・学術・文化関係
 - 高須久治郎(77) 齊藤町
 - *産業関係

- 加藤 芳平(68) 高河原町
- *社会事業関係
- 藤原 慧俊(69) 今川町
- *民生関係
- 朝岡 新六(68) 徳次町
- 石川 つや(69) 山下町
- 内田 稔(69) 寺津町
- 佐藤 みき(66) 上道日記町
- 清水 平策(69) 平口町
- 鈴木 兼一(71) 寺津町
- 高須 谷子(62) 中畑町
- 新実 英一(68) 米津町
- 守山鋔太郎(63) 上 町
- 松井 由郎(87) 宮 町
- *納税貯蓄関係
- 稲垣 武男(65) 南会生町
- *治安の維持・水・火災の防護関係
- 鬼頭 保(55) 米野町
- *奇特・篤行関係
- 外山 正二(60) 平坂町
- *寄附者関係
- 井上 光(56) 細池町
- 岩月 文子(70) 岡崎市
- 小田井博茂(28) 中畑町
- 志賀甚太郎(46) 桜 町



▶色々な植木が並べられました

第10回 農林水産振興展

農林水産振興展が、5月8、9日に市役所南庭でおこなわれ、25,000人の市民でにぎわいました。農産物の売り上げは、400万円で過去最高を記録。

そのすご〜い人でした

第3回 消防市民ひろば

消防市民ひろばが、五月九日市役所北庭でおこなわれ、約二万人のチビっ子らでにぎわいました。ヒヨコのプレゼント、レンジャーコーナーなどに人気集中。



▲レンジャーを見守る人・人・人

夏の交通安全

市民運動



夏休み中の子どもを交通事故から守ろう——七月十日から二十日まで、夏の交通安全市民運動が展開されます。夏場は暑さのため、事故が多発します。ドライバーのみなさん、くれぐれもご注意を。

カミナリがくるのは、一般に雨が降り始めた初期。まだ小降りだから、と思っているうちに、ピカリ、ゴロゴロときて、あわてさせられた経験をおもちの方も多いでしょう。

「春雷」とか「冬の雷」と呼ぶものもあり

ますが、やはり一番多

いのは夏。

激しい上昇

気流で背の

高い雲が生

ずるときに、

電氣的なア

ンバランス状態ができるから

です。この季節はまた山や野、海

辺などにレジャーの人が多い時

期でもあるので被害が重なり

ます。毎年、落雷による死者は

平均二十人、負傷者は三十人

前後出ています。最も危険な

のは、むき出しの平

くらしの科学



カミナリ

らな場所にいるとき。空に近い物に落雷しますから、金属類を捨てても立ってはいけません。雷鳴が近いときは、逃げ出すよりもまず伏せることです。

自動車の中、電車の中などは安全ですからあわてる必要はありません。家の中でも、部屋の中央にいる方が安全。電灯のすぐ近くは

避け、テレビなどはコンセントを抜き、雷鳴の激しいときには電話

も使わない方が無難です。配線を伝わって受話器をこがしてしま

つた例などもあるからです。雷雲は一か所にとどま

ってはいないので、カミナリの通過までしばらくのしんぼうが肝要。

昔の人は、あの光がお米を突らせるというところから「稲妻」と呼

びました。

みかとして絶好の場所となります。台所では、ガス台の裏側、炊事

場の物入れの奥、火の近くの壁や板のすきまとか割れ目、食器

などの奥などにひそんでいることが多いのです。

たまたま見つけたゴキブリを一匹ぐらい殺したとしても、どれほど隠れ住んでいるかは見当もつき

ません。ゴキブリがひそんでいる場所は徹底した「掃作戦」が効果的

です。

台所は、火を使うため暖かく、ジメジメと湿度も高く、食べ物も

そろっているなど、ゴキブリの住

くらしのメモ



ゴキブリ

百害あつて

一利なし

七月から九月にかけては、ゴキブリがいちばん活発に動き回る時期です。ゴキブリは赤痢やコレラ、腸チフス、食中毒、小児まひなどの菌をバラまいたり、また回虫や十二指腸虫の卵を運ぶことさえあります。つまり百害あつて一利もない「不潔で危険な虫」が、ゴキブリなのです。

台所は、火を使うため暖かく、ジメジメと湿度も高く、食べ物もそろっているなど、ゴキブリの住

場所として絶好の場所となります。台所では、ガス台の裏側、炊事場の物入れの奥、火の近くの壁や板のすきまとか割れ目、食器などの奥などにひそんでいることが多いのです。たまたま見つけたゴキブリを一匹ぐらい殺したとしても、どれほど隠れ住んでいるかは見当もつきません。ゴキブリがひそんでいる場所は徹底した「掃作戦」が効果的

史料

＝190＝

「幽囚日誌」(一)

六月末まで資料館で開かれていた「大浜騒動」展には、数々の新史料が展示されていましたが、なかでも全国で初めて発表された、石川台嶺の「幽囚日誌」は貴重

でした。大浜騒動の僧侶側の若き指導者台嶺が、明治四年三月十一日に入牢してから、翌二十七日岡崎

へ送られるまでの、西尾藩奥屋敷(葵町)の牢舎での生活、心境がうかがえるばかりでなく、明治変

革期の西尾藩の刑法関係の役職、白洲での取り調べぶり、牢内生活の悲喜こもごもなど、読み進んで

興味尽きないものがあります。ここでは、その二、三を紹介しましょう。

いったん岡崎藩の手の者に捕縛された台嶺は碧海郡(安城市)下小川村で西尾藩の手へ渡されまし

た。夫ヨリ西尾藩役人ヨリ呼出シニ相成リ 唯今ヨリ西尾藩へ同道

イタスとの事故 昨夕岡崎御藩御召取之次第ヲ申上候処 役

人ヒ申候ニハ何分拂騰(騒動)之次第ナレバ脱衣(法衣を脱ぐ)申し付クベキナレト(ども)拙

者共之念として差許シ候事 夫ヨリ幸右衛門方出立 前後四

五人營衛ニテ尤要吉先案内 嘉

市郎荷物持ニテ 西尾本町郷宿布袋屋方へ下着 道(同)心の中 上役之者兩人拙者を呼び出し 懇切に御尋ラレ覆(腹)藏

ナク申し述べ候処 ます西尾へ到着早々郷宿で取り調べあり、その概要は中心人物、

「大将」は誰かということでした。小憩のあと、午後は藩庁刑法局(藩政改革後の新職名)の白砂へ呼

び出されました。白砂は石(砂)の上に三尺四方ばかりの高座同様のものがあり、その上にへりが敷

いてあり、その上に坐れと命ぜられました。裁くのは刑法局少参事始め七人で捕亡方が固めていま

した。「刑法局」「少参事」「捕亡方」など江戸時代になかった明治の新しい職名にかわっても判延は

旧態依然とした「白洲」であることが大浜騒動が沸騰した転換の世相をあらわしています。

長時間の取り調べがすんで、奥屋敷牢の揚り屋(未決囚牢舎)へ入れられました。揚り屋は二畳半

で平坂の浄教寺が同宿でした。浄教寺は昨年の五月から入っており万事牢中の様子を親切に指示して

くれたと台嶺は記しています。当時の藩牢は、

揚り屋 拙者と共に式人 下牢 都合拾九人 番人 嘉兵衛 平

吉 六藏 与吉 万助 仁助 房事 順海町久右衛門

房事は世話方のようなもので牢への食物の差入れなどを扱って

ました。

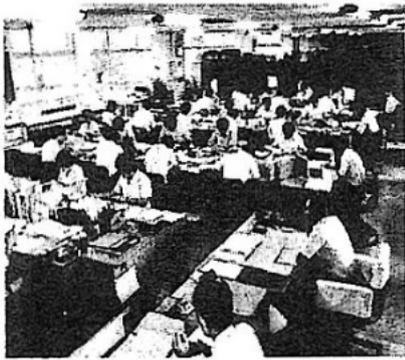


窓口案内 4 総務部 税務課

ここは、市の財政を支える大きな力となっています。係は、税制係、市民税係、土地係、家屋係、収納係の五つです。

職員は全部で四十三人、市役所でいちばん大きな課です。事務室は一階にあります。仕事の内容は軽自動車税や納税組合に関することを税制係が、個人や会社の市民税に関することを市民税係が、土地の固定資産税・都市計画税に関することを土地係が、家屋・償却資産の固定資産税・都市計画税に関することを家屋係が、そして、収納係はこれらの税金の徴収などを担当しています。

みなさんの大切な税金を扱う仕事だけに、みんな公平かつ正確をモットーとして、仕事に取り組んでいます。



実った作文指導

室場小学校（高須音次郎校長）が、学校の指導、運営部門で第三十一回「読売教育賞」に、このほど入賞しました。

室場小は、研究テーマのねらいを作文指導におき、五十三年四月から授業に取り入れ、地道な努力が実ったもの。高須校長は、「児童も先生もたいへんでした。成果が認められてうれしい」と喜んでみえました。

花火の中味は火薬



夏の夜、夕涼みを兼ねての花火は楽しいものです。しかし、花火の中身は火薬。取り扱いを誤るとやけどをしたり、ときには火事の原因になったりしますので、くれぐれもご注意ください。

プールができました

今年の四月に新設された鶴城小学校に、七月九日待望のプールが完成しました。

二十五メートル六コース、最新のステンレス製で、総工費は五千五百八十八万円。

完成を待ちわびた児童らは、大はしゃぎ。夏休みには、連日、体力づくりにと水しぶきをあげることでしよう。



「幽囚日誌」(2)

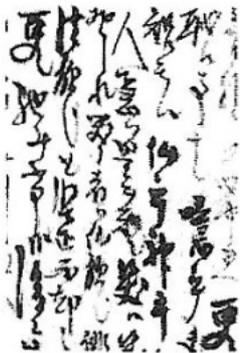
「幽囚日誌」の初めの部分に見られる台嶺の心境を披瀝する部分を紹介しましょう。

明治四年三月十一日、台嶺は刑法局の取り調べのあと、西尾藩牢揚屋（未決牢）で初めて牢内の生活を体験します。

三月十二日快晴

九ツ半頃御呼出し 捕亡方式人網引一人 揚屋口ニテ呼ブ 拙僧疲勞ニテ睡中浄教寺起しヒ呉驚起き挙り 直ニ昼飯イタシ腰綱ニテ市中ヒ相引 刑法局へ罷出申し候 市中通行の節 見物人山ノ如クニ候へ共 拙者ニ於テハ名利ノ為ニハ非ズ事ヲ好ミ候ニモ非ス 唯宗教相立候との心中ゆゑ更ニ心ニ於テ恥ル事ナシ 嗚呼夫我意ヲ知ルモノハ仏乎 神乎 風塵ノ人焉 是ヲ知ン 笑ハ笑ヘ 誹ハそれ 笑フ者は仏敵なり 誹ルモノハ法敵なりと堅正不却ノ誓心更弛み不申候 後二見ル人此意察し玉

（原文のまま）



以下、刑法局での取り調べの様子が一問一答の形式で記されています。

掲出した場面は、引き立てられて行く自分を見ようと集まった山のような見物人、それに対する自己の心中を吐露したもので、最も簡明に台嶺の当時の信念がうかがいとれると思われまふ。台嶺の腰縄で引き立てられて行く姿を見ようと集まった群衆を「見物人」と記しています。「見物人」という語には、自分とかれらの間に、精神的宗教的紐帯が感じられませんが、あとの台嶺の述懐にあるように、台嶺は、この「見物人」に反感、反発、対抗意識を持っているようです。群衆の中には、台嶺をいたましく思い、私を擁護するような気持ちで集まって来た人も相当まじっていたと思われまふが、台嶺の当時の眼中にはそれがありません。

これは、台嶺が農村に生まれ、農村に住み、農民門徒と親しんでいた境遇から、城下町の町人らにただちに権力につながるものと思われまふ。偏見の感情があつたものと思われまふ。裁判の過程で権力側が、農民の蜂起を台嶺らの計画的煽動と極力見なそうとし、台嶺らは偶発的騒動と主張して譲らないが、これは台嶺らの主張が正しいと思われまふ。台嶺らが農民蜂起の根回しを計画的に行つた形跡はなく、それが、台嶺が群衆を反発的に「見物人」と見る一語にもあらわれまふ。



窓口案内 6 総務部 公害交通課

この課は、誕生してから十年になります。事務室は二階で、正面玄関の真上にあります。
係は、公害対策係と交通安全係の二つで、職員は総勢十五名です。

公害対策係は、仕事の内容からすれば地味で、コッコツと積み重ねていくことが多く、地域の環境調査や企業の監視、公害の苦情処理などの仕事をしています。

また、交通安全係は市民交通傷害保険や交通安全教育、交通安全施設の設置など、交通安全に関する仕事をしています。

シートベルトを締めてゆっくり走ろう——を合い言葉に毎日がんばっています。



平中弓道部が優勝

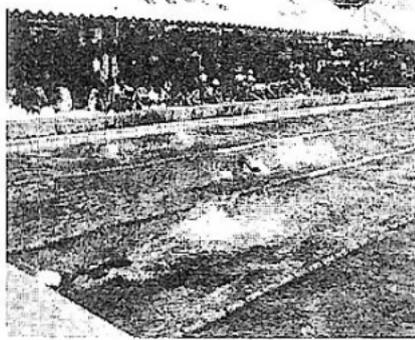
愛知県中学校総合体育大会「弓道大会」が、八月二日、宝飯郡小坂井中学校で行われ、平坂中学校が、十三年ぶり二度目の優勝をしました。県下から二十一校の女子チームが参加。

三人が、それぞれ十二射放ち、いくつ命中したかを争うもので、平坂中学校は、三十六射中二十二命中し、二位の蒲郡中部中に二射の差をつけ優勝したものです。

水しぶきに大きな歓声

市内小学校水泳大会が八月十日鶴城中学校プールで行われました。市内十四の小学校から、約三百七十人の豆スイマーが参加。十四種目の競技に熱戦が繰り広げられました。

プールサイドでは、甲子園の高校野球に負けなほどの意気の合ったにぎやかな応援。結果は、男子総合で花ノ木小学校、女子総合で矢田小学校が優勝しました。



たばこ消費税は暮らしの中に生かされています



たばこは市内で買しましょう

史料ノ下 =192=

「幽囚日誌」 (3)

明治四年四月八日、石川台嶺は

「幽囚日誌」に、「先月今日除髪候俣丁度今日ニテ三十日ニ相成甚ウツ陶敷事無限御座候」と書きつけています。牢中生活のうとうとしさにつれ、先月八日の暮戸集会を思うのでした。この日の取り調べは、前々とはちがった物々しきでした。刑政局の白砂の台嶺に對したのは、知事松平乗秩、大参事今井図書、権大参事菅三左衛門の三名が上の間に座り、刑政局掛りは少参事矢野雲八、大属高瀬春(後の誤記)、高瀬与助、権少属大場権藏、寺本清八郎、米山七兵衛、五十嵐庄右衛門の七人全部が前座へ着座し警戒も厳重でした。まず高瀬大属が「過日願い度き段申し出候ハ何事にや」と問いかけました。すなわち今日の訊問は台嶺がみずから申し出たものでした。そこで何事ならんとかく物々しい仕儀になりました。大属の問いに台嶺は次のように答えました。

別義ニテも無之。拙僧事從來柔弱の生質ニテ平生養生不怠様父母ヲ始め兄弟類族心配の事ニ候然る処先幽囚之身ト相成候ヨリ屈指仕レハ寂(最)早三十日近クニモ相成マスルユヘ定メテ父母種類門之者共寝食ヲ忘レ悲嘆仕り候半んと存ジマスレバ難堪

次第に御座候何卒御吟味中自坊ニテ謹鎮又ハ法類成共御預ケヒ成下候様御官員之御慈愛之程偏ニ歎願仕度為御呼出願上候事ニ御座候

それから大属との間で激しい論争があつたが、「先ズ今日ハ下ラレヨ」ということで、牢に帰った台嶺はいたく疲れ、寝所に入ってしまった。風邪をひき、以後数日頭痛に苦しみました。この日の審判以後、西尾藩刑政局の取り調べはありませんでした。そして四月二十七日に岡崎へ移されました。

この四月八日の裁判はどういう意味を含んでいたものでしょうか。まず第一に台嶺の申し出によって開かれたことです。これには官の意図を探ろうという台嶺のほからいがあったものと思われれます。「釈放せよ」との要求が通るものと考えたとすれば、時代の動き、大浜騒動の規模、性質、大浜騒動における自分の位置について甘い認識であつたといえましよう。おそらく台嶺は官の最終的意図を探り、覚悟を決めようといわざとされたい要求を突きつけたものでしょう。西尾藩もこの台嶺の意図を察して知事を始め高官がその場に臨んで無言のうちに台嶺の運命を暗示したものと考えられます。西尾藩牢中の台嶺は以後も平坂港の政府役人の出入をさぐり、裁判が岡崎で行われることになお一縷の望みをかけていたようです。

事故はおこすな おこさすな 春の交通安全運動はじまる

■実施期間

四月六日から十五日まで

■重点実施事項

1、スクールゾーンの設定

▽学校グループごとにスクールゾーン対策委員会の設置（通学路の安全対策を推進）

▽通学路標識の方向転位や破損の点検整備

2、安全運転の徹底

▽スクールゾーンにおける三分間がまん運転の呼びかけ

▽不法物件の排除

▽違反屋外広告物の排除

3、子どもと老人を守る交通安全教育の普及と徹底

▽保育園、幼稚園に交通安全委員会の設置（通園路の安全対策を推進）

▽三歳児検診、予防接種時に交通安全教育をする

▽老人クラブ、老人家庭へ出向き交通安全教育をする

▽警察官による、新入学児童を対象とした交通安全教室の開催

みんなで安全確保

新入学（園）児童を

交通事故から守りましょう

一人一人が交通ルールを守り、力をあわせて交通事故をなくそう

あふないよ

おうちがちかいと

かけるみち



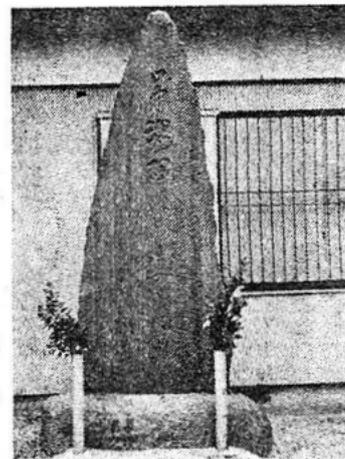
史料ノール

-64-

葵町にある

女工哀史の碑

「明治三十三年一月二十五日午前三時三十分、もうすぐお正月（旧）と楽しい帰郷を夢に、疲れて深いねむりにおちていた女工三十余名が焼死、あるいは重傷を負うという、いたましい事件がおこった。葉栗郡光明寺村の小島織工場である。」



焼死した女工三名の吊魂碑が葵町に立っている。石川台嶺殉難の地の一隅、民家の板囲いに接して寒さむと西風に吹かれて

宮町通神戸戸中保衛以下一〇名の発起者の名が刻まれ、表面に、西尾町荒井治三郎二女以下三二名の法名が上下二段に列記してある。

西尾町一、吉田村一、衣崎村八、一色村二、御嶽村一、大宝村一、井崎村六、高浜村二、新川町七、中島郡安賀村一、某一である。

管理のでたらめさを物語っている。この碑は明治三十三年七月、焼死者に幡豆郡出身者が多いために旧東本願寺説教場（現幼稚園）の庭に立てられたが、のち、現在の地に移された。いたましくも、また尊い女工哀史碑である。

衣崎村は現一色町の松木島ほか四か村、御嶽村は旧三和村の南部六か村、大宝村は今川村ほか五か村、井崎村は鶴ヶ池村ほか六か村の旧名である。西尾市をはじめ、幡豆碧海で大部分を占め、地元近くはただ一名にすぎない。当時はこの地方に働き場所が少なく、機業のさかんな尾張地方へかり立てられていったのである。それにしても一夜の火事では、十一時間の焼死者を出したのは、十一時間にも及ぶ長時間労働の疲労による熟睡と、女工の脱出を防ぐ嚴重な戸締りのためであったという。衣崎村伴亀蔵二女、三女、一色村高田藤兵衛三女、四女、井崎村稲垣清造二女、三女と三組を姉妹が折重なって焼死したとはなんという悲惨である。最後の某とはどうしたことが当時の人事

八市史編さん室